

月	領域(系統)	時数	学習内容	観点別評価基準と評価方法(%数値は5段階評定への配分割合)			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・技能	
				33.3%	33.3%	33.3%	
4.5月	【生命】	12	花のつくりとはたらしき	身近な植物や動物に興味を持ち、意欲的に調べようとする。	観察から得られた事柄から、環境と生物の関係を推論することができる。	ルーペを正しく使って観察できる。正しくスケッチをすることができる。	被子植物と裸子植物の花のつくりの違いと共通点を説明することができる。
5.6月	【生命】	7	根や茎のつくりとはたらしき	根の様子が植物によって違うことに興味を持ち、身近な植物について調べようとする。	根が枝分かれし、さらに根毛が無数にあることの利点を指摘することができる。	根や茎の切片を作り、それらのつくりを観察することができる。	根の様子が植物によって異なることを、例をあげて説明することができる。
6.7月	【生命】	8	葉のつくりとはたらしき	葉脈の違いなどに興味を持ち、その特徴について考えを発表しようとする。	葉の断面の観察から、葉のつくりの規則性を見いだすことができる。	葉の表皮や断面のプレパラートを作り、顕微鏡で観察することができる。	葉の断面や表皮のつくりについて説明することができる。
7月	【生命】	6	植物の分類	いろいろな植物のなかま分けを意欲的に行おうとする。	いろいろな被子植物の体の特徴を調べ、単子葉類か双子葉類かを表にまとめることができる。	シダ植物の葉についている胞子嚢を見つけ、ルーペや顕微鏡を使って観察できる。	単子葉類・双子葉類について根・維管束の配列・葉脈・花卉の数の特徴から説明することができる。
1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査	・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査	・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査	・授業観察 ・小テスト ・定期考査
9月	【物質】	8	いろいろな物質とその性質	物質の体積と質量の関係に興味を示し、いろいろな物質について調べようとする。	実験結果から、調べた物質がなんであるか類推することができる。	白い粉末状の物質を調べる実験を、正しく安全に行うことができる。	物体と物質の違いについて理解し、有機物と無機物、金属と非金属の違いについて知識を身につけている。
9.10月	【物質】	6	いろいろな気体とその性質	未知の気体を調べることに興味を持ち、調べようとする。	異なる方法で発生させた気体の性質が、同じ性質か異なる性質かを判断できる。	酸素や二酸化炭素の発生や捕集の実験を正しく安全に行うことができる	酸素、二酸化炭素、アンモニア、水素、窒素などの性質や捕集方法、発生方法について理解している。
10月	【物質】	6	水溶液の性質	身の回りにある水溶液について興味を持ち、物質が水にとける様子について考えようとする。	水に物質がとけている様子を粒子のモデルで考えることができる。	水溶液からとけている物質を取り出す実験を、正しく安全に行うことができる。	飽和水溶液、溶解度、再結晶の意味について理解している。
10.11月	【物質】	8	物質の状態とその変化	身のまわりの物質の状態変化に興味を持ち、調べようとする。	エタノールを加熱した時の温度変化をグラフで表し、関係を見いだすことができる。	蒸留装置を正しく組み立て、安全に実験を行うことができる。	状態変化の特徴、純物質、混合物の特徴を理解している。
11.12月	【エネルギー】	8	光による現象	光的当てゲームなどに進んで取り組み、光が鏡で反射する時の規則性を意欲的に調べようとする。	実験の結果をもとに、入射角と反射角の関係を科学的に考察することができる。	光源装置、鏡、分度器を使って、入射角を変えた時の反射角を測定できる。	目に入ってくる光の先に物体があるように感じるものと物体で反射した光の進み方を関連づけて、物が見えるしくみを理解し、知識を身につけている。

12月	【エネルギー】	5	音による現象	共鳴音さや空気をぬいていくと音が聞こえなくなる現象に興味を持ち、進んで調べようとする。	実験の結果から、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関係していることを考察することができる。	振動のしかたと音の関係を調べる実験を行い、音の大小や高低と振動のしかたとがどのような関係にあるのかを調べることができる。	音は波としてすべての方向に伝わり、空気中ではおよそ340m/sの速さで伝わることを理解し、知識を身につけている。
12.1月	【エネルギー】	12	力による現象	バネを使って物体に働く重力の大きさをどのようにして測定したらよいのか、疑問を抱き進んで調べようとする。	実験結果を誤差をふまえながら正しくグラフに表し、バネの伸びは力の大きさに比例することを見いだすことができる。	力の大きさとバネの伸びとの関係を調べる実験を行い、結果を表にまとめることができる。	力には、弾性の力、重力、抗力、磁石の力、摩擦力といったいろいろな種類の力があることを理解し、知識を身につけている。
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査	・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査	・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査	・授業観察 ・小テスト ・定期考査
1.2月	【地球】	6	火をふく大地	火山噴出物に関心を持ち、積極的に調べようとする。	マグマの性質と火山の形・噴火の様子・噴出物との関係を推測することができる。	火山岩の組織や鉱物を観察し、その特徴をスケッチで示すことができる。	火山岩と深成岩の組織の違いを、その成因などに関連づけて理解している。
2.3月	【環境】	5	動き続ける大地	地震のゆれに対して関心を持ち、震源や震央について調べようとする。	グラフや作図から、初期微動継続時間は震源から離れるほど長くなることを見いだすことができる。	地震計の記録から、等発震時曲線を書くことができる。	日本付近の震央・震源の分布の特徴を、太平洋側のプレートの沈み込みと関連づけて理解している。
3月	【環境】	8	地層から読み取る大地の変化	化石の写真や標本に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	地層に含まれる化石から、地層が堆積した時代や当時の環境を推論できる。	堆積岩を適切に観察し、その特徴を記録することができる。	地層の広がり方を、粒の大きさの違いに注目し、時間的、空間的に理解できる。
3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査	・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査	・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査	・授業観察 ・ワークシート等提出物 ・定期考査